

1. 競技種目詳細 [シングル]

クラス	参加資格	年齢制限	採点方式	ショート	フリー課題	フリー滑走時間
選手権	6級以上	2007年6月30日以前に出生した者	ISU ジャッジング システム	2022-2023 シニア課題	2022-2023 シニア課題	4分±10秒
Jr選手権	6級以上	特になし		2022-2023 ジュニア課題	2022-2023 ジュニア課題	3分30秒±10秒
ノービスA	男・女とも4級以上	特になし		—	2022-2023 ノービスA課題	3分±10秒
ノービスB	男・女とも3級以上	特になし			2022-2023 ノービスB課題	2分30秒±10秒
2級	2級	特になし			日本スケート連盟下 位クラスのガイドラ インに示す課題とす る (2012.07.13)	2分±10秒
1級	1級	特になし				1分±10秒
初級	初級	特になし				
無級	無級	特になし		制限なし	1分 (男女同一グループで演技) (男女混合・グループ可)	
教室級(オープン競技)		特になし	採点を行わない			

※JSFローワークス課題 (2012.07.13)

※JSFローワークス課題 (2012.07.13)		男	女	共	通
共通 (課題に関する明確化)	ジャンプ	ワルツ・ジャンプは無級・初級のみベースバリュエーション0、30で認定する。 ノーバリュエーション(キックアウトを含む)であってもジャンプの枠は使ったものとする。			
	スピニング	フライング、足換えは任意、レベルB(ベーシック)のみ、3回転しなければノーレベル。			
	ステップ・シークウエンス	シークウエンスの長さは1/2以上あれば認定する。1/2に満たない場合はノーレベル。			
	その他	2級競技以下は、プログラムの後半にジャンプを開始しても基礎値(SOV)を1.1倍しない。 2級競技以下は、転倒1回につき0.2点減点とする。			
2級 (2分)	※ 特記事項	PCSは、SS・PE・INの3項目。ファクター1、8(全PC共通)。			
	① ジャンプ要素	最大4 ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はジャンプ・シークウエンスを2回含むことができる、第一ジャンプは異なる4種類を含むこと(回転数が異なっても同じ種類とする)。1つはアクセル型ジャンプでなくてはならない。同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)。			
	② スピニング要素	最大2 1つは1ポジションのスピニング(5回転以上)レベルBで評価する。1つはスピニング・コンビネーション レベルBで評価する。			
	③ ステップ・シークウエンス	最大1 レベルBで評価する。			
1級 (1分)	※ 特記事項	PCSは、SS・PE・INの3項目。ファクター1、5(全PC共通)。			
	① ジャンプ要素	最大4 ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はジャンプ・シークウエンスを1回含むことができる、第一ジャンプは異なる4種類を含むこと(回転数が異なっても同じ種類とする)。			
	② スピニング要素	最大1 1ポジションのスピニング(5回転以上)レベルBで評価する。			
	③ ステップ・シークウエンス	最大1 レベルBで評価する。			
初級 (1分)	※ 特記事項	PCSは、SS・PE・INの3項目。ファクター1、2(全PC共通)。			
	① ジャンプ要素	最大4 ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はジャンプ・シークウエンスを1回含むことができる、第一ジャンプは異なる4種類を含むこと(回転数が異なっても同じ種類とする)。			
	② スピニング要素	最大1 1ポジションのスピニング(5回転以上)レベルBで評価する。			
	③ ステップ・シークウエンス	要素として認定しない			
無級 (1分)	※ 特記事項	PCSは、SS・PE・INの3項目。ファクター1、0(全PC共通)。			
	① ジャンプ要素	最大3 ジャンプ・コンビネーション又はジャンプ・シークウエンスは不可。全て異なる種類のもの(回転数が異なっても同じ種類とする)。			
	② スピニング要素	最大1 1ポジションのスピニング(5回転以上)レベルBで評価する。			
	③ ステップ・シークウエンス	要素として認定しない			

※2級～無級は、平成26年度から中四国各県スケート連盟の申し合わせに基づき、JSFローワークスを完全適用しています。